



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社スタメン 上場取引所 東  
 コード番号 4019 URL https://stmn.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 厚史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 大西 泰平 TEL 052 (462) 1428  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	196	—	0	—	0	—	△1	—
2020年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△0.13	—
2020年12月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は2020年12月期第1四半期について四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第1四半期の数値及び2021年12月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 2021年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、四半期純損失のため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,523	884	58.0
2020年12月期	1,403	885	63.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 884百万円 2020年12月期 885百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	394	37.9	△30	—	△30	—	△35	—	△4.18
通期	869	40.0	23	10.5	22	211.7	13	223.7	1.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	8,425,000株	2020年12月期	8,425,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	24株	2020年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	8,424,983株	2020年12月期 1 Q	7,425,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化により、社会経済活動が大きく制限される中、緊急事態宣言の再発令など、依然として極めて厳しい状況となり、企業収益に与える影響については、先行き不透明な状況が続いています。

他方、当社が属するHR Techサービス領域については、従来からの「働き方改革」の推進に加えて、ニューノーマル（新常态）におけるテレワーク・在宅勤務への関心の高まりや、政府による電子化推進などを背景に、引き続き高い注目を集めております。

こうしたマクロ経済動向のなか、当社は「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める。」という経営理念のもと、エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG（ツナグ）」の事業拡大を進めてまいりました。コロナ禍による企業活動の停滞や新規投資マインドの減退の影響がありましたが、Webマーケティングの強化やWeb商談の活用により、潜在的な需要へのアプローチに注力しております。加えて、利用企業向けのオンラインイベントの開催など、利用企業の支援（カスタマーサクセス）の強化にも取り組んでおります。それにより、エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」は堅調に成長を続け、2021年3月末時点で利用企業数は349社（前年同期比70社増）となりました。

また、当社では、「TUNAG」が保有する組織運営・組織活性化に有用な多数の機能をオンラインサロン向けに拡張・再構築し、2020年5月よりサブスクファンサロンアプリ「FANTS」の提供を開始しており、2021年3月末時点で利用サロン数は29サロン（前年同期は事業開始前につき実績なし）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は売上高196,201千円、営業利益717千円、経常利益364千円、四半期純損失1,067千円となりました。

なお、当社の事業セグメントはエンゲージメントプラットフォーム事業の単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて119,763千円増加し、1,523,575千円となりました。これは、主に現金及び預金が106,614千円増加したことによるものです。

#### （負債）

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて120,866千円増加し、639,183千円となりました。これは、主に短期借入金が120,000千円増加したことによるものです。

#### （純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて1,102千円減少し、884,391千円となりました。これは、主に四半期純損失を1,067千円計上したことによるものです。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

「TUNAG」はサブスクリプション型のサービスモデルであるため、2021年12月期においても、利用企業におけるストック収益を確保しながら、新規契約の獲得により売り上げを積み上げてまいります。

利用企業については、カスタマーサクセス体制の強化やプロダクトの機能拡充により継続率を確保し、新規獲得については、販売パートナーの開拓や広告プロモーション（Web広告、イベント出展等）等の強化により、利用企業数の増加を図ります。

2021年12月期においても、引き続き新型コロナウイルス感染症が経済へ影響を及ぼすものと見込まれますが、当社が属するHR Tech市場については、引き続き関心が高い状況が見込まれることから、その潜在的な需要を獲得し、売上高は前年同期比40.0%以上の成長を目指しております。

費用面においては、プロモーションのための広告費、営業・カスタマーサクセス・プロダクト各部門の体制強化のための人件費等、事業成長に向けた投資を継続してまいります。業績としては営業利益23,653千円（前年同期比10.5%増）、経常利益22,498千円（前年同期比211.7%増）、当期純利益13,636千円（前年同期比223.7%増）を計画しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,291,490	1,398,105
売掛金	14,874	22,962
その他	28,564	27,376
流動資産合計	1,334,929	1,448,444
固定資産		
有形固定資産	4,124	4,488
無形固定資産	1,059	814
投資その他の資産	63,698	69,828
固定資産合計	68,882	75,131
資産合計	1,403,812	1,523,575
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	10,000	130,000
未払法人税等	13,716	4,109
前受金	202,208	234,797
資産除去債務	—	2,289
その他	132,128	164,241
流動負債合計	358,052	535,437
固定負債		
長期借入金	155,974	101,746
資産除去債務	4,290	2,000
固定負債合計	160,264	103,746
負債合計	518,317	639,183
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	607,300	607,300
資本剰余金	547,300	547,300
利益剰余金	△269,105	△270,172
自己株式	—	△35
株主資本合計	885,494	884,391
純資産合計	885,494	884,391
負債純資産合計	1,403,812	1,523,575

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	196,201
売上原価	39,130
売上総利益	157,071
販売費及び一般管理費	156,353
営業利益	717
営業外収益	
受取利息	4
受取手数料	63
営業外収益合計	67
営業外費用	
支払利息	420
営業外費用合計	420
経常利益	364
税引前四半期純利益	364
法人税等	1,432
四半期純損失(△)	△1,067

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いて計算しております。